

News Release

秋田県秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業 安全祈願祭・起工式を挙行

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営エナジーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：横田裕史、以下、日本工営エナジーソリューションズ）を代表企業とするグループが DBO（設計・施工・運営）方式で受注した秋田県秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業の安全祈願祭・起工式が2024年11月8日、秋田県立武道館で行われました。式には秋田県の神部秀行副知事をはじめ、国会、国土交通省、環境省、県議会、県内市町村およびグループ構成企業の関係者約100名が出席しました。

このたび起工した本事業は、秋田市向浜地区にある秋田臨海処理センターを拠点としたマイクログリッド構築プロジェクトです。消化ガス発電、風力・太陽光発電による再生可能エネルギー電力を、蓄電池、エネルギー管理システム（EMS）、水素製造利用設備などにより需給バランスを調整しながら、向浜地区にある公共施設10カ所に供給します。本事業により、全施設が年間で消費する電力約22,000MWhのうち7割以上を再生可能エネルギーに置き換えることができます。また残り約3割の電力も外部から再生可能エネルギーを購入することで、CO2排出削減量は年間で約10,000t-CO2を見込み、電力消費に伴うCO2排出量ゼロを実現します。

本事業は地元企業を含む6社での共創事業となっており、日本工営エナジーソリューションズは代表企業として、設計・施工から運営まで一貫して本事業を遂行してまいります。設計・施工は、NKES[※]・沢木組・TJAS・TDS 特定建設工事共同企業体が、2024年に着工、2025年度～2026年度の約2年間で設備を構築し、2027年度からは、秋田県内で再生可能エネルギーの地産地消を手掛ける地域エネルギー会社（ローカルでんき株式会社）を含めて設立した特別目的会社（SPC）である、あきたみらい共生電力株式会社が、20年間の運用を目指しています。

※NKESは日本工営エナジーソリューションズの略



■ 本事業の概要

案件名称	秋田県秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業
事業方式	DBO（Design Build Operation：設計・施工・運営）
構成企業	日本工営エナジーソリューションズ株式会社（代表企業）、株式会社沢木組、ローカルでんき株式会社、東京電設サービス株式会社、月島JFEアクアソリューション株式会社、長州産業株式会社
体制	設計施工（DB） NKES・沢木組・TJAS・TDS 特定建設工事共同企業体 運営（O） あきたみらい共生電力株式会社（日本工営エナジーソリューションズ株式会社、株式会社沢木組、ローカルでんき株式会社による SPC）
落札額	6,401,382,658 円（税込）

■ 導入設備一覧（予定）

設備名	規模	備考
消化ガス発電	625kW	
太陽光発電	6,900kW	
風力発電	2,300kW	1基
蓄電池	11,000kWh	
水素製造利用装置	水電解装置：10Nm ³ /h、燃料電池：20kW	
自営線	約 5km	地中ケーブル



事業イメージ全体図



秋田臨海処理センター 発電設備等完成予想図

— 本件に関するお問い合わせ先 —

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
 TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>